

抱き合うだけではまだ足りぬ

作・木村 繚真

○登場人物（女性3名・男性1名）

奥原 里帆

結奈

鞍手 藍

寺田

里帆 この世には、常識つてものがある。
心音とともに幕があく。舞台には立方体が幾つか点在している。

メトロノームC I（105～120 BPM辺り）。各々言葉に合わせた動作を行ながる発語。2小節ごとに句点表記。最初の6拍待って、

寺田 おやすみ。
鞍手 ただいま
寺田 里帆 おはよう
寺田 里帆 よろしく
鞍手 結奈 おつかれ
寺田 里帆 さよなら
鞍手 結奈 ごめんね
寺田 里帆 またね
鞍手 結奈 ただいま
寺田 おやすみ。

寺田 ほか シーツ！
寺田 ほか 。。。
寺田 里帆 些細なことで
寺田 里帆 傷つき乱れて
鞍手 結奈 いつまでたつても
鞍手 結奈 大人になれない。
寺田 里帆 寂しがり屋の
寺田 甘えん坊

鞍手 産まれたばかりの
 寺田 里帆 里帆 里帆 里帆 里帆 里帆 里帆
 鞍手 結奈 結奈 結奈 結奈 結奈 結奈 結奈
 寺田 おぎやあ おぎやあ おぎやあ おぎやあ おぎやあ おぎやあ おぎやあ
 鞍手 おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！
 寺田 おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！ おんぎやあ！
 里帆 呼吸 呼吸 呼吸 呼吸 呼吸 呼吸 呼吸
 結奈 酸素 酸素 酸素 酸素 酸素 酸素 酸素
 鞍手 お母さん お母さん お母さん お母さん お母さん お母さん お母さん
 寺田 はさみ。 はさみ。 はさみ。 はさみ。 はさみ。 はさみ。 はさみ。
 里帆 へその緒 へその緒 へその緒 へその緒 へその緒 へその緒 へその緒
 結奈 紣 索 索 索 索 索 索
 鞍手 時間は流れる 時間は流れる 時間は流れる 時間は流れる 時間は流れる 時間は流れる 時間は流れる
 寺田 泣いて 泣いて 泣いて 泣いて 泣いて 泣いて 泣いて
 里帆 笑って 笑って 笑って 笑って 笑って 笑って 笑って
 結奈 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。 おっぱい飲んで。
 鞍手 眠って 眠って 眠って 眠って 眠って 眠って 眠って
 寺田 目覚めて 目覚めて 目覚めて 目覚めて 目覚めて 目覚めて 目覚めて
 里帆 また泣いて また泣いて また泣いて また泣いて また泣いて また泣いて また泣いて
 結奈 齒が生え 齒が生え 齒が生え 齒が生え 齒が生え 齒が生え 齒が生え
 鞍手 ハイハイ ハイハイ ハイハイ ハイハイ ハイハイ ハイハイ ハイハイ
 寺田 進んでく。 進んでく。 進んでく。 進んでく。 進んでく。 進んでく。 進んでく。
 里帆 嘶って 嘶って 嘶って 嘶って 嘶って 嘶って 嘶って
 結奈 食べて 食べて 食べて 食べて 食べて 食べて 食べて
 鞍手 ときどき吐いて ときどき吐いて ときどき吐いて ときどき吐いて ときどき吐いて ときどき吐いて ときどき吐いて
 寺田 聴いて 聴いて 聴いて 聴いて 聴いて 聴いて 聴いて

里帆 見つめて
 鞍手 4人 歩いてゆくんだ。
 里帆 でも！
 里帆 なに？
 鞍手 本当に、当たり前？ 食べたり、喋ったり、
 見たり聴いたり歩けることって。
 里帆 間。
 寺田 違う。
 結奈 うん。
 里帆 当たり前じやない。
 鞍手 そうだよね。
 里帆 そもそも、生きるって当たり前？
 鞍手 死ぬのは、当たり前。
 結奈 どこまでが常識で、当たり前？
 寺田 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」
 結奈 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」
 鞍手 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」 「当たり前」
 寺田 よーい、 よーい、 よーい、 よーい、 よーい、 よーい、 よーい、
 里帆 え？ え？ え？ え？ え？ え？ え？
 ほか どん！ どん！ どん！ どん！ どん！ どん！ どん！

里帆以外、走り出す。

里帆
え？

里帆と鞍手、ぶつかる。

里帆
えつ、何どうしたの
寺田
こらー奥原ア！

里帆
え？

寺田
廊下を歩くなアー！

結奈
ほら行こう。

里帆、戸惑いつつ走り出す。

鞍手
先輩おはようございまーす！

鞍手
おはよー！

鞍手
先生おはようございまーす！（去つていく）

鞍手
おーう！いい天気だなーっ、実に清々しい。

里帆
あのっ、先生ー！

寺田
なんだ奥原アー！

里帆
なんで走つてるんですかー？

寺田
なんでつて、ここは廊下だぞー？

里帆
廊下、廊下は走つちやいけないんじやないですかー？

寺田
なんでー！

里帆
え？ なんでつて……（歩く）

鞍手、全速力で簪を滑らせて走つてくる。

結奈
里帆ちゃん危ない！

里帆と鞍手、ぶつかる。

里帆
いてて、

鞍手
危ないじやないかキミ！ 廊下を歩くなんて！

里帆
え、あ、ごめんなさい。

寺田
どうしたんだ。

鞍手
この子が廊下を歩いてて、

寺田
ぶつかったのか。

鞍手
はい。

寺田
まったく高校生にもなつて。廊下は歩くな、小さい頃に教わつたろ？

寺田
はい……。

寺田
ぶつけたか？

寺田
いえ。

寺田
気をつけろ。

寺田
すみませんでした。

寺田、走り去ろうとしたところ、

正面からチリトリを持って走つてくる結奈。

2人は進路を数度譲り合うが被り、カバディ状態に。結局ぶつかる。

里帆
ねえちょっと、コレなんなの？
寺田
俺たち4人で「当たり前」を定義する！
里帆
検証？
寺田
検証だよ。

鞍手 なんでって、気持ち悪いだろ。何が当たり前か分からないと。
寺田 里帆 なんだそれ。
寺田 結奈 なんだ。
寺田 里帆 廊下はね、走っちゃ危ない。
寺田 結奈 うん、間違いない。
寺田 里帆 よっしゃ、お前ら、ほかなんかあるか?
寺田 結奈 当たり前のこと?
寺田 おう。
鞍手 例え?
寺田 結奈 じゃあ、こつちは右か?
寺田 結奈 うん。
寺田 結奈 うん。
寺田 結奈 「当たり前」のように思うだろ?
鞍手 結奈 違うの!?
寺田 結奈 みんなからしたらこつちは左で、こつちは右ってことでしょ?
鞍手 結奈 ねえみんなってなに?
寺田 結奈 みんなつてみんなよ。
鞍手 その通り。
寺田 結奈 あー、お客さんか。
寺田 里帆 だがしかしだな、こう言い換えたらどうだ?
寺田 里帆 うえとした。奥とツラ?
寺田 結奈 あー、お客さんか。
寺田 里帆 なんか卑怯。
寺田 里帆 卑怯じゃないツ。
寺田 里帆 うえとした。奥とツラ?

寺田	そうだ。
鞍手	私は日本人？
寺田	そううう。
鞍手	アメリカでアメリカ人が私を見てもそう思う？
寺田	思う！
鞍手	そうかなあ。
寺田	ほら、ほかにもないか？
里帆	えー。
寺田	あ、ハイハイ！
はい！	はい！
結奈	「授業中寝ない」！
寺田	「授業中寝ない」！
鞍手	はーい、みんな席についてー。
結奈	起立ー。気をつけー。礼ー。
生徒	お願ひしまーす。
結奈	睡眠ー。
ほか	はーい。
生徒	生徒3人、着席して寝る。
寺田	はい、前回の続き教科書5032ページ開いてー。

鞍手 寺田 い。
寺田 鞍手 授業中起きるな。
鞍手 え、でも教科書開けつて
寺田 眠眠学習だ。
鞍手 効果あるんですか！？
寺田 ある。

寺田、いびきを立てて寝る。

鞍手 ハーイ。前回やつた平面ベクトル。覚えてるー？
里帆 ように、位置、向き、大きさのある線分を……、
鞍手 せんせーい。
里帆 うるさくて眠れませーん。
鞍手 ああ、そつかそつか、ごめんね。そうだよね。授業は静かにやろうね
つてオーイ！
寺田 なんだよ。
鞍手 ムナシイ。
結奈 誰も聞いてないもんね。
里帆 こつちとしてもさ、寝てなきやいけないって逆につらい。
寺田 ハツ、体育も寝てないといけないのか！
結奈 はーいバドミントンしまーす。
全員 はーい。
4人、横たわる。

鞍手 あのさ、
寺田 おう。
鞍手 バカみたいじやない？
4人、颯爽と起きる。
里帆 そもそも睡眠学習って意味ある？
鞍手 ないでしょ。
結奈 ないのかー。
寺田 俺たちの未来に関わる。授業は寝たらいけない！
里帆 当たり前だよね。
ほか あ。
里帆 え？ あ。
4人 当たり前。
寺田 よーし、この調子でいつてみよう！
鞍手 じやあ（拳手）、
寺田 お、ノつてきたな。
鞍手 「身だしなみを整える」！
鞍手と里帆、髪をほどいたり服装を乱す。寺田もちやらくする。
結奈 え、みんな何してるの。
鞍手 ちよ、結奈スカート長いー。
里帆 マジださいんすけどー。

結奈 そうかな？

寺田 オウオウそこの可愛い子ちゃんたちー。俺とニヤンニヤンしようぜー。

鞍手 間に合ってますー。

寺田 またまたー。

里帆 その顔でナンパとかウケるー。

寺田 んだとコラーー？

鞍手 耳遠いんかコラーー？

里帆 耳かきすればー？

寺田 してるわ！

里帆 ママのお膝でー？

鞍手 きもーい。

寺田 んなわけねえだろ、パパだわ！

間。

鞍手 あのさちよつと待つて。

寺田 なんだよ。

鞍手 それほんと？

寺田 なにが。

鞍手 お父さんに耳かきしてもらつてるの？

寺田 おう。

女子3人だけでひそひそ話す。

寺田 おい、なんだよ。

里帆 あ、ううん。なんでもないです。

寺田 いや違うからな？ 別に俺はファザコンとかじやないからな！

鞍手 大丈夫大丈夫、みんなも色々あるから

寺田 色々ってなんだよ。

鞍手 中2まで親と寝てた。

寺田 ふーん。

鞍手 中1まで親とお風呂に入つてた。

寺田 お父さんと？

鞍手 わたし今も入るよ、お父さんと。

寺田 ほかえつ。

鞍手 背中流しつこする。

寺田 客席の皆さん事案でーす！

鞍手 高校生の娘さんとお風呂に入つているお父様ー！

里帆 いらっしゃいましたら舞台上へどうぞー！

鞍手 結奈 えー、変なの？

鞍手 結奈 うん、やめたほうがいい。ね？

寺田 結奈 おう、そうだな。

鞍手 結奈 じゃあみんなはいつまで入つてたの？

鞍手 結奈 わかんないけど小学生かな。

寺田 結奈 え。

鞍手 結奈 あんたは？

寺田 結奈 誰と？

鞍手 結奈 ……母親。

寺田 里帆 客席の皆さん事案でーす！

鞍手 結奈 中3男子とお風呂に入つているお母様ー！

結奈 いらっしゃいましたら舞台上へどうぞー！
寺田 あのな、俺が望んだんじゃないからな！
鞍手 断れよ。
寺田 いや、かわいそうだろ。
里帆 マザコン？
寺田 違う！
寺田 でも嫌じやないんだよね？
結奈 まあな。
寺田 鞍手 今は違うんでしょ？
寺田 。。。
里帆 まさか。
寺田 違う違うチガウ、たまに！ たまにな！
寺田 いやいや、お前まで引くな！
結奈 マザコン。。。
寺田 お前はファザコンだろうが！
結奈 。。。
寺田 違うよ！ お父さんが勝手に入つてくるんだもん！
里帆 110番？
鞍手 児童相談所？
寺田 今から家に乗り込むか？
結奈 いいよつ、今日からやめる。
里帆 えらい。
鞍手 寺田もやめな？

里帆 引き返せなくなるよ。
寺田 依存症か俺は！
鞍手 違うの？
寺田 俺んちだつてあつちが勝手に、
里帆 ハイハイ、もうさ、趣旨がズレちゃつてるから。
鞍手 戻そう。
寺田 つたく、服装指導だつたな。
鞍手 うん。
寺田 オウオウそこの可愛い子ちゃんたちー。俺とニヤンニヤンしようぜー。
里帆 いいよお？
鞍手 どこいくー？
寺田 とりあえずグーセン。
里帆 いくいくー。
鞍手 結奈も来なよー。
結奈 。。。
里帆 結奈？
寺田 いいよいよ、そいつなんかダセえし。3人で楽しもうぜ、
結奈 不健全だ。。。
寺田 結奈 あ？
寺田 ちやらちやらして、いちやいちやして、そんなの不健全だ！
結奈 うわあああん！
寺田 おい落ち着け！

結奈、寺田を殴る（スロー・モーション）。寺田、吹き飛ぶ。

結奈は鞍手と里帆になだめられる。

結奈 私だつて、私だつてさ、なんか嫌だなつて思つてたんだよ？ でも今までそうしてきたし、断りたくもないし、どうしたらいいか分かんなかつたんだよ……。

里帆 お風呂の話？

結奈（頷く）

鞍手 嫌だと思うなら、拒否していいんだよ。結奈の好きにしていいんだよ。

寺田 そんなの当たり前だろ？

女子3人、寺田を睨む。バツの悪い寺田。

寺田 だから、作つたらいいんだよ、もつと大きな「当たり前」を。

鞍手 そしたら誰も迷わないし困らない。「当たり前」が人それぞれなんて、そんなの「当たり前」って言わないと？

鞍手 言いたいことはわかるけど……。

寺田、里帆を見つめる。

里帆 なに。

寺田、無言で近づいていく。後ずさる里帆。

寺田、正面から里帆の両肩に手を置く。場に緊張が走る。

寺田 生きてるよな。

里帆 は？

寺田 生きてるよな？

里帆 当たり前じゃん。

寺田 お前らも、生きてるよな？

鞍手 たぶんね。

寺田 たぶんじゃない、絶対だ。人間だ。

里帆 人間。

寺田 そう、日本人。

里帆 16歳。

寺田 高校生。

鞍手 性別は女。

里帆 女。

寺田 女！

寺田 ほかえつ！

寺田 俺は女だ！

寺田 結奈 そうなの？！

寺田 鞍手 あはーん

寺田 鞍手 うそつけ！

寺田 結奈 うそなの？！

寺田 鞍手 失礼ね。

寺田 里帆 女って証拠は？

寺田 結奈 そんなの要らない。

寺田 鞍手 なんで？

寺田 里帆 だつて私は女だから！

寺田 男でしょ！

寺田 あなたこそ男じゃなくて？
 里帆 (股間をきりげなくサツ) 女よ！
 鞍手 確認すんな。

寺田 確かに体は男。でもね、心は立派な女よ。
 結奈 じゃあどうやつて見分けたらいいの？
 寺田 見分ける必要ない。

鞍手 あるでしょ。

里帆 怖いよ。

寺田 ただ信じるのです。

結奈 女子トイレ使うの？

寺田 イエス。

結奈 お風呂は！？

寺田 一緒に。

鞍手 ありえない！ 身体的特徴をもつて区別されるから。

寺田 差別だ。

鞍手 体の構造から違う。生まれた時から不平等よ。

寺田 例えば？

鞍手 例えば、子宮。

寺田 (自身の下腹部に手をあてる)

鞍手 生理のしんどさ、あんたに分かる？ めんどくさが男に分かる？
 寺田 ……分からない。

里帆 筋肉。

寺田 え？

里帆 力じや勝てない。少なくとも、私は。

結奈 胸のふくらみ。お腹のふくらみ。(寺田を見て) 変だよ。

鞍手 うん、変。絶対におかしい。

寺田 何が。
 里帆 頑丈にできてるほうが産めばいいのに。役目と負担が偏りすぎてる。
 鞍手 約40週。

寺田 約、40週。

結奈 男と女。
 里帆 遺伝子。

鞍手 血液。

寺田 内臓。

里帆 骨格。

寺田 鞍手 結奈 皮、肌の色。

里帆 鞍手 結奈 体毛、髪の色。

寺田 鞍手 結奈 右手。

寺田 里帆 左手。

里帆 結奈 右足。

鞍手 結奈 左足。

寺田 自分の身体を確かめるように、次第に、舞うように動いていく。
 里帆 やがて止まり、

寺田 good morning (グッド モーニング／英語)
 結奈 잘 부탁해 (チャル プタッケ／韓国語)
 鞍手 辛苦了 (シンクーラ／中国語)
 寺田 Au revoir (オールヴォワール／フランス語)

里帆 Scusa (スクーザ／イタリア語)
結奈 Bis dann (ビス ダン) (／ドイツ語)
鞍手 Ya volví (ヤ ボルビー／スペイン語)
寺田 おやすみなさい (日本語)

里帆以外の3人、ふっと力が抜けて床に眠る。里帆に照明集まる。
ここから4人それぞれのエピソードが描かれていく。各主人公以外の
3人は、本人として登場せず、必ず他人を演じている。便宜上、名前
の表記は統一されている。

里帆 「自殺」という言葉は、まるで誰かを殺したようだと言われ、「自死」とも言われる。でもそれって変ですよね。たとえ自分でであろうと、人を殺したことには変わりないのに。その事実から逃げるように名前を変えたって意味がない。むしろイメージアップ。それにその言葉を使っているのは、自殺なんてしない人たち。死ぬ張本人たちは名前なんて気にしない、だってそんなのどうでもいいから。でもそんなことより、生きる義務を押し付けて、死ぬ権利を奪う奴らが許せない。死にたい気持ちも聽かない人こそ、人を殺します。「私の場合」。

鞍手 里帆、

里帆 照明、戻る。全員箱に座りながら、

鞍手 里帆！

里帆 え？

鞍手 どしたのぼーっとして。

里帆 ううん、課題のこと考えてた。

寺田 夏休みだってのに休みがないよなー。

結奈 うちは休みお盆だけ。

鞍手 ブラック部活だー。

寺田 吹奏楽ってそんな大変？

結奈 うまくなるには練習しなきゃ。

鞍手 すごいねえ。

寺田 お前こそ。

鞍手 なんで？

寺田 家で勉強ばっかしてんだろう？

鞍手 してないよ。

寺田 常に校内1位とつてんだからなー。

結奈 天才だよねー。

鞍手 夢があるから。

里帆 なに？

鞍手 内緒。

寺田 いいねー。

結奈 あんたは写真家だっけ？

寺田 おう。

鞍手 食べていけるの？

結奈 生々しいね。

寺田 好きだから頑張るんだよ。勉強して、感性磨いて、一流になるんだよ。

鞍手 芸術ってよく分かんない。

結奈 いいよー？音楽は。

寺田 写真もな。

鞍手 映画なら分かりやすいんだけど。

寺田 そういえば演劇部って大会とかあるの？

鞍手 ううん。
寺田 あ、6組のアレサンドロか?
鞍手 内緒。
寺田 ……幸せな奴だな。
鞍手 そうでもないよ。
寺田 わかつた。幸せになつてくれ。
鞍手 なれたらね。
寺田 上手に去る。
結奈、里帆、立つ。
里帆 いやほんとなんだつて!
結奈 またまたー。
里帆 藍も言つてやつてよ。
鞍手 うん、昨日見たよ。一緒に帰つてるところ。
里帆 たまたま!
結奈 違うんだなー。
鞍手 手、繋いでたんだよ。
里帆 ……。
結奈 2人の後姿がね、こう、出来上がつてたよね。
鞍手 見てることちが恥ずかしかつた。
結奈 ねー。
里帆 ごめん、私もう帰つて死ぬわ。
結奈 明日数学テストだよ。
里帆 (テキトーに手を振つて下手に去る)
鞍手 今回はどうだろ。

結奈 ま、2日もあれば復活するでしょ。
鞍手 そんなに早く?
結奈 恋愛体質なんだよ。
鞍手 でも付き合つたことないんでしょ?
結奈 らしいね。
鞍手 恋に恋してるつて感じ?
結奈 あー、ぴつたり。
鞍手 でもいいよね。
鞍手 なに?
鞍手 人を好きになれないより、素敵だと思う。
結奈 藍は好きな人いないの?
鞍手 え。
結奈 そういうの聞いたことないけどさ。
鞍手 私は……、
結奈 いるの?
鞍手 ……。
鞍手 いるんだー。誰?
結奈 2組の大納言?
鞍手 ちがうよ。
結奈 じゃあ6組の、
鞍手 アレサンドロでもない。
結奈 えー、じゃあー、
鞍手 私ばっかり答えてずるい。
結奈 まあ、私はさ、ちよつと、怖いかな。男の人が。
鞍手 ……。
鞍手 ほら、色々あつたじゃない?
鞍手 うん。

結奈 だから、よくわかんない。

鞍手 そつか。

結奈 うん。

間。

結奈 よし、帰ろつか！

結奈、去ろうとしたところ、

鞍手 ねえ、

結奈 ん？

鞍手 私、好きだよ。

結奈 なに？

鞍手 真奈美のこと。

結奈 ありがとう。

鞍手 ちがう。

結奈 どしたの？

鞍手 ……好きなの。

間。

結奈 私が、男だつたら良かつたのにね。

結奈、去る。鞍手、自分の身体を感じる。

鞍手 女だから何？ 男だから何？ 私が決めたんじゃない。私が……！

鞍手の前に寺田と里帆がやってきて、

寺田 付き合ってください。

里帆 お願いします。

寺田 ご飯に行こう。

里帆 うん。

寺田と里帆により、とある男女カップルの物語が演じられる。

（おおまかに立ち位置は変えず、その場で演じる）

その様子を鞍手は遠くから見ている。

寺田（徒歩、さりげなく車道側を歩くように位置を変える）

里帆 ありがとう。

寺田 このお店にしよう。

里帆 いいね。

寺田 いただきます。

寺田（食べる動作）

里帆 おいしい。

寺田 よかつた。

里帆 ごめん、お手洗い。

寺田 うん。

寺田（去る） すみません、先、お会計。……ご馳走様です。

里帆 (戻つてくる)
寺田 美味しかつたね。
里帆 お腹いっぱい。
寺田 行こうか。
寺田 いいよ。
里帆 うん (財布を出す動作)。
寺田 駄目だよ。
寺田 もう払つたから。
里帆 えー。じゃあ今度は私がご馳走する。
寺田 手料理が良いな。
里帆 じゃあ、練習する。
寺田 楽しみだ。
寺田 2人 微笑む。
里帆 (床からかなり重い物を持ち上げようとする動作)
寺田 えー。じゃあ今度は私がご馳走する。
里帆 手料理が良いな。
寺田 じゃあ、練習する。
寺田 楽しみだ。

寺田 召し上がり。
寺田 2人 いただきます。
寺田 (食べる)
寺田 どう?
里帆 頬張りすぎ。
寺田 (親指を立てる)
寺田 やつた。
寺田 今度は俺が作る。
里帆 え、期待しちゃうかも。
寺田 任せろ。
里帆 うん。
寺田 (里帆の手をとり、) 結婚しよう。
里帆 : : : はい。
寺田 (客席に向かい、) 娘さんと、結婚させてください！ お願いします！
里帆 (立ち上がり) 結婚かあ。
寺田 (跪いて、指輪を取り出す)
里帆 (口に手を当てる)
寺田 (手を差し伸べ)
里帆 (手を出し)
寺田 (指輪をはめる)
里帆 (微笑む)
寺田 (指輪をはめた手をそのままゆっくりと里帆のお腹に当てる)
里帆 もうちょっと下。
寺田 パパだよ。
寺田 まだ早いよ。
寺田 撮るよ。
寺田 (ピース)
寺田 良いね (画面を見ている)。
里帆 お待たせ (箱の上に料理を並べる)。
寺田 良い匂い (床に座る)。

寺田 お前のママはな、世界で1番なんだぞ。

里帆 たとえば？

寺田 優しい。

里帆 ほかには？

寺田 美人だ。

里帆 それから？

寺田 料理がうまい。気が利く。仕事ができる。話も面白い。でもときどき

里帆 変だ。

寺田 変ー？

里帆 いい意味で。

寺田 なにそれ。

里帆 いつもありがとうございます。

寺田 こちらこそ、ありがとうございます。幸せです。

2人、静止。間。

鞍手 おぎやあ。

鞍手 お腹に手を当てる。結奈、ゆっくりと出てくる。

鞍手 私たち、女だよ？
鞍手 分かってる。
結奈 分かってる？
鞍手 分かってる。
結奈 ……なら、良いよ。
鞍手 え？

結奈と鞍手、抱き合う。寺田・里帆、微笑んで拍手。

抱き合った2人、そのまま膝をつく。

寺田と里帆は拍手を止め、結奈と鞍手を睨みつけ、

上・下手へそれぞれ去っていく。

照明・シルエット。残った2人は更に絡み合い、ゆっくりと横たわる。

暗。舞台には結奈が照らし出される。

結奈 中学の頃からです。私は勉強ができなくて、みんなにクスクス笑われました。先生も溜息をつきます。でも、お父さんだけは、抱きしめてくれました。誰も私を怒らない。なんでだろう。お母さんがいないから？ なんでだろう。黒板に書いてある数式が、滑り台やブランコに見える。なんでだろう。クラスメイトは泣いているのに、私は涙が出来ない。一緒に笑えない。笑わなくていい時に笑っちゃう。なんでだろう。「私の場合」。

寺田がやってきて、

寺田 座つて。
結奈 うん。
寺田 今日は学校どうだった（結奈の背中をこする）。
結奈 どうって？
寺田 楽しかったか？
結奈 あ、今日ね、演劇部のみんなと「当たり前ってなんだ」っていうの
考えた。

寺田 なんだそれ。
寺田 寺田っていう男子がいてね、突然言い出したの。
寺田 面白い子だな。
寺田 結奈 お父さんに似てる。
寺田 結奈 気のせい気のせい。
寺田 結奈 でね、思ったの。
寺田 結奈 うん。
寺田 結奈 私には、当たり前つてよくわかんないなーって。
寺田 結奈 父さんも、よくわからんよ。
寺田 結奈 お父さんでも分かんないことあるの？
寺田 結奈 あるぞ。
寺田 結奈 例えば？
寺田 結奈 宇宙人はいるか。
寺田 結奈 え、いるいる！ 絶対いる！
寺田 結奈 なんでそう思う？
寺田 結奈 いたほうが絶対楽しい！
寺田 結奈 そうだな。俺たちだって宇宙人だしな。
寺田 結奈 え！？
寺田 え。
寺田 結奈 日本人じゃないの？
寺田 結奈 なんだ日本人か。
寺田 結奈 地球だつて宇宙に浮かんでるんだ。宇宙に住んでるんだよ。
寺田 結奈 なるほどー。
寺田 結奈 広い宇宙に、ほかの生き物がいてもおかしくない。
寺田 結奈 ねえ、窓開けていい？

寺田 いいぞ。
寺田 結奈 (窓を開ける) ふいー、涼しい。
寺田 結奈 星、見えるか？
寺田 結奈 うん！
寺田 結奈 今日ならペルセウス座流星群が見れるかもな。
寺田 結奈 ペルペル流星群？
寺田 結奈 ペルセウス座流星群。こつちは北東だから、ちょうど放射点だ。
寺田 結奈 流れ星か。
寺田 結奈 まだ時間が早いけど、ちょっと電気消してみるか。
寺田 結奈 うん！
寺田 結奈 舞台、薄暗く。天には星がきらめく。
寺田 結奈 こういうとき、田舎は良いな。
寺田 結奈 ねえ。
寺田 結奈 ん？
寺田 結奈 お母さんってさ、私の顔、見たことある？
寺田 結奈 ……あるよ。
寺田 結奈 そつか。
寺田 結奈 お前を見て、笑いながら泣いてたよ。
寺田 結奈 ……そつか！
寺田 結奈 星が流れる。
寺田 結奈 見た！

結奈 見たー！

寺田 母さんはな、今でも空から見てくれてるよ。

結奈 ありがとう、お母さん。

寺田 座る。

結奈 お父さん。

寺田 ん？

結奈 もう、お父さんとお風呂入るのやめる。

寺田 どうかしたか？

結奈 足りない脳みそで考えた。私、お父さんに心配されないくらい、

寺田 強くなる。お母さんいないし、わたし、ちょっと馬鹿だけど、

寺田 そんなことない。

結奈 強くなるから。

寺田 (何度も頷く)

結奈 ほら、もう高校生だし、蹴つたり石ぶつけて来る人いないから。

ね、大丈夫。もうアザとか無いでしょ？

寺田 そうだな。

寺田 (首を横にふる。満面の笑み)

寺田 今までありがとう。

そこへ後ろから里帆が寺田を引っ張り袖まで追いやり、
戻ってきて、

里帆 あのさ。
結奈 はい。

里帆 困ってるんだけど、助けてくれない？

結奈 はい。

里帆 彼氏に妊娠させられて、おろすのに50万いるんだわ。

結奈 はあ、

里帆 お金貸して。

結奈 えっと、家族とか、

里帆 アンタに頼んでんのよ。

結奈 あ、ああ、

里帆 いくらある？

結奈 えっと、

里帆 でも、

里帆 返すから。

里帆 早く。

結奈 はい。あ、いや、

里帆 早くしないとおろせなくなるでしょ！

結奈 はいっ……！（渡す）

里帆 ありがとう。

里帆 去る。

寺田、鞍手の腰に腕を回してやつてくる。

寺田 なあ、ちょっといいか。

寺田 うん……。

結奈 こちら、

寺田 あ、

鞍手 亞美でーす。お世話になつてまーす。

結奈 こんばんは。

鞍手 子ども、大きいね。

寺田 え、言ったよね。

鞍手 あなた、結構色氣あるね（結奈の体を触る）。

結奈 （びくつき、振り払う）

鞍手（舌打ち）

寺田 あ、あのな。亜美さんと、父さん、付き合ってるんだ。

寺田 もう半年になる。

鞍手（寺田の頭を撫でる）

結奈 ……。

寺田 言つておこうと思つて。

寺田 結奈 なんで……？

寺田 結奈 え？

寺田 結奈 なんですよ。

寺田（ニヤけて）結奈、父さんな、

結奈 気持ち悪い……。

寺田 ……。

結奈 最つ低。

結奈、寺田から目を離さない。

その目には軽蔑や拒絶、強い意思がこもつてている。

鞍手（鼻で笑つて、家の中に勝手にあがる）

結奈（服のすそを引っ張つて止める）

鞍手 なに？

結奈 勝手に入らないで、ください。

鞍手 どうして？

結奈 家族じゃないです。

鞍手、結奈の手を振りほどき、奥へ進む（去る）。

寺田 なあ、

結奈 私が大人になるまで、こういうのないつて言ってたよね？

寺田 でもな、

結奈 でもじやない！

寺田 ……。

寺田 結奈 うそつき。

寺田 結奈（触れようとする）、

結奈 やめて。

寺田 なあ、

結奈 キモいよつ……。

寺田 ……。

寺田 結奈 お父さんに、裸見られたり、触られるの、嫌だつた……！

結奈、駆けて出て行く。

鞍手が出てくる。

鞍手 裸見られたり、触られるつて。

鞍手 どういうこと？

寺田 え？

寺田 違う。別に変な意味じゃなくて、

鞍手 帰る。

寺田 ちょっと、待つて、

鞍手 去る。追いかけて去る寺田。

結奈 駆けてきて止まり、赤ん坊のように泣く。

結奈 おかあさああああああんんんん……!!

星がいくつも流れる。

シリエット。しばらくの間のあと、溶暗。泣き声はやまず。やがて静まり、明。寺田が照らし出される。

寺田 高校1年のときでした。クラスにコマル君という丸眼鏡でふくよかな

奴がいました。入学して1カ月が過ぎた辺りで、彼の様子がおかしいことに気づきます。「俺の場合」。

寺田、客席を向いて席に座る。授業中。ふと、

寺田 俺の前の席に座るコマル君の体が、入学した頃よりも随分大きくなつ

ていました。黒板が見づらいほどに。俺は軽い気持ちでコマル君に言いました。「黒板見えない。ちょっと瘦せれば?」。何気ない一言でした。それを聞いていたクラスメイトは大爆笑。みんな悪乗りして、

鞍手 「とんかつばつか食つてるからだろ」

里帆 「ぶーぶー」

結奈 「今日の弁当はキャベツか?」

寺田 と、からかいました。彼の実家はとんかつ屋で、俺も何度か行つたことがあります。

鞍手 「ほれほれ

里帆 「相撲とろうぜ」

寺田 最初のうちはコマル君のお肉をつんつんしたり、相撲をとつたり、みんな楽しそうでした。俺も1戦交えます。

結奈 「はっけよーい、のこつた!」

寺田、一人で相撲をとる。投げ飛ばされる。

寺田 誰もコマル君に勝てない。隣のクラスの大納言君でも勝てない。

鞍手 「コマル君すごい」

里帆 「入門したら?」

結奈 「ぶにぶにー」

寺田 学年でのコマル君人気は高まりました。けれど、黙つていないう奴が

いました。6組のアレサンドロです。彼は2度もコマル君に負けてい

ます。しかもそれを女子に見られて屈辱でした。

鞍手 「アレサンドロくんつてもしかして」

里帆 「弱い?」

結奈 「ださーい」

寺田 プライドを傷つけられたアレサンドロ。矛先は、コマル君へ。女子を使つて、

鞍手 「コマル君。今日の放課後、体育館倉庫で待つてる」

寺田 コマル君を暗がりに呼び出した。そして後ろから首を絞め、倒して、頭を殴る。仲間が腹や背中を蹴る、唾を吐く。その日からです、

コマル君への扱いが、ひどくなつていつたのは。

鞍手 「また太ったか？」

里帆 「何キロ？」

鞍手 「お前の店赤字じゃねーの」

寺田 初めはアレサンドロ一味だけでした。でも1週間もすれば、みんな同調し始めて……、

鞍手 「デブ」

里帆 「子豚ちやーん」

結奈 「瘦せろ」

寺田 黒板見えないって。

鞍手 「コマル君って優しいよねー」

里帆 「いじられ役だよねー」

結奈 「いつでも笑ってるよねー」

寺田 だからさ、黒板、見えないって！ 邪魔！

鞍手 「邪魔」

里帆 「邪魔」

結奈 「邪魔」

寺田 (繩を跳びながら) 高さもつと！ちょ、低いよ！ (ひつかかる)

鞍手 「邪魔」

里帆 「邪魔」

寺田 「はい、残飯」

結奈 「ダイエットしないでね、コマル君そのままでカワイイから」

寺田 数ヶ月して、やっと席替えになりました。

鞍手 「やつとだー」

里帆 「後ろがいいなー」

結奈 「コマルの後ろとか」

3人 「やだー」

寺田 (むすつとした表情。しかし気を取り直し、くじを引く) 山口さんの隣
こい、隣、こい、こい！

鞍手 寺田、心の声漏れる。

寺田 (引く) おおおっしゃあああ！ やまぐつちさああん！

寺田、立方体を1回転させて座る。

寺田 よろしく、山口さん！

寺田、鼻歌を歌う。

寺田 あ、山口さん、俺ね、演劇部入ってるんだけど、今度体育館で上演するんだよ。安藤も出るしさ、良かつたら友達つれて観に……、21

寺田、遠くに座っているコマルの顔を見る。教室内の喧騒消える。

寺田 初めて見た。これまで見たことのない顔で、コマルは座っていた。今までずっと、あんな顔で教室にいたのか？ あんな悲しい顔で座っていたのか？ 俺は彼の大きな背中しか見てこなかつた。背負つているものに、気づきもせず。

鞍手 「えーうそ、コマルの後ろじやん」

結奈 「いいじやん隠れられて」

鞍手 「でも（耳打ち）」

結奈 「あー（クスクス）」

里帆 「なになに」

結奈 「いや、あのね、」

寺田 やめろよ、

結奈 「コマル君の近くつて、」

寺田 やめろおおおおおつ！！

間。

寺田

コマル……お前、お前つらいよな？ つらいに決まってるよな？

なのに、なんでそんなに笑ってんだよ……泣きたきや泣けよ！

なあ？ なあコマル。コマル？ おい、行くな、行くなコマルー！

暗。

鞍手 それから1週間後のことでした。

里帆 屋上から飛び降りて、

結奈 コマルは自ら命を断つた。

蝉の声。明。

寺田、舞台下手後方でしゃがみ、手を合わせている。

寺田 俺が、ちょっと横にズレたら良かったんだよな。

大きくなつてたのは、俺の傲慢な態度なんだよな……？

寺田、声なく泣く。蝉の声FO。

結奈と鞍手、里帆に絡みながらやつてくる。

寺田は遠くから様子を見る。

鞍手 ねえ今月ほんとキビしいのよー。お願ひだからさあ、金、また盗んできてくんない？

結奈 あ、修学旅行のお土産ヨロシク。うち4人家族ね。

鞍手 うちは6人だから。

結奈 あとさ、2日目の夜、先生に告白しな。

鞍手 誰でもいいよ、選ばせてあげる。

結奈 あ。

鞍手 結奈、草むらのコオロギを捕る。

結奈 ねえ、コオロギ、好き？ ねえ、コオロギ！

里帆 口にこおろぎを押し込まれる。

笑う2人。

鞍手 あんたさ、日本人じゃないでしょ。

結奈 なんか汚いよね。

鞍手 臭いし、

結奈 キモいし、

2人 ウザい。

鞍手 聞いてんの？ (里帆の髪をつかむ)

結奈 (動画を撮り始める)

鞍手 (里帆に顔を寄せてピース)

結奈 スカート脱いで。

里帆 (顔を横にふる)

2人、笑つて去る。各人のエピソードは終わり。

舞台シルエット。

順番にゆつくりと歩きながら入ってきて、言葉が重なっていく。

ほか
ハーア！

……最近、なんかあつた？

里帆
ない。

寺田
じやあ真面目にやつてよ。

寺田
やつてるだろ。

寺田
やつてない。

寺田
じやあ、

寺田
でも、最近なんか変だよ。

寺田
進路のことで、ちよつとな。

寺田
教師になるんでしょ？

寺田
……。

寺田
おうちの問題？

寺田
気にすんな。

寺田
（止まり）俺らしいってなんだ？

寺田
奥原らしいって、なんだ？

寺田
え？

寺田
寺田らしくない。

寺田
（止まり）俺らしいってなんだ？

寺田
奥原らしいって、なんだ？

寺田
俺らしいってなんだ？

寺田
なに、急に。

寺田
俺はお前にはなれない。

寺田
それはそうでしょ。

寺田
俺は俺でいいのか？

鞍手、結奈去る。

寺田、去ろうとして、

里帆
寺田らしくない。

寺田
（止まり）俺らしいってなんだ？

寺田
え？

寺田
奥原らしいって、なんだ？

寺田
俺らしいってなんだ？

寺田
なに、急に。

寺田
俺はお前にはなれない。

寺田
それはそうでしょ。

寺田
うるせえな。

鞍手
緞帳あげまーす。

寺田
鞍手

寺田
ん……？

寺田
最近どうしたの。

寺田
何が。

寺田
なんか、から回ってるよ。

寺田
うるせえな。

寺田
鞍手

緞帳あげまーす。

里帆	寺田	どこまで。
寺田	お前はお前でいいのか？	
里帆	……いい。	
寺田	どこまで。	
里帆	どこまでも。	
里帆	分かり合うには、ひとつにならないといけない。だけどひとつになつたら、俺は一体どこへ行く、何になる。	
寺田	ほかの人がいるからって、寺田が消えることはないんだよ。	
里帆	そんなの上つ面じやないか。相手を認めて、相手にならない限りバラバラのままなんだよ。でも相手になつたら俺は俺じやなくなる！	
里帆	よくわかんないよ。	
寺田	演劇の、役作りと同じことだ。	
里帆	……とにかく、私はここにいる。寺田もこのままここにいて。	
寺田	ここってどこだ。	
里帆	体育館の、ステージの上。	
寺田	……違う。	
里帆	え？	
寺田	ここは、教室だ。	
里帆	え？	
寺田	数学の課題終わつた？	
里帆	おはよー！	
結奈	え。	
里帆	チャイム。結奈入る。	

里帆 結奈 昨日2時までやつたけど分かんなくつ
里帆 (寺田を見る) 教えて!

里帆 結奈 え、まさか寺田先生に聞けっていうの?
里帆 寺田、先生? うん。え? 見えない!?

里帆 結奈 宿題は自分でやれー。
里帆 結奈 はあーい。

寺田、去ろうとして、

寺田! おーくーはーらアー。寺田先生だろう。

寺田 なんだ、どうした。
里帆 (首を横に振る) 具合悪いのか?

寺田 いや、なんでも、ありません。

里帆 結奈 どうしたの?
里帆 これ、夢?
里帆 結奈 これって、これ?
里帆 うん。

寺田、去る。

結奈 え、これ夢なの！？

里帆 いや、だってさっきまで部活
結奈 なんで夢なの？

里帆 いや、わかんない。

里帆 結奈もいたじやん。

里帆 結奈 何部？

里帆 演劇部。

里帆 結奈 んー？ わたし陸上部だよ？

里帆 え？

里帆 結奈 それに里帆ちゃん、部活やつ
里帆 ？？

里帆 結奈 寺田って生徒もいないよ？

里帆 結奈 いや、いるじやん、あの馬鹿
里帆 んー？

鞍手、入る。

鞍手 結奈 あ、藍ちゃんいいトコロに！

鞍手 なに。

里帆 結奈 里帆ちゃん変なの。

鞍手 おはよ。

里帆 おはよう。

鞍手 顔色悪いね。

里帆 ねえ、私たち演劇部だよね？

鞍手 いや、だつてさっきまで部活

里帆 結奈
鞍手 ほら。
里帆 私、部活やつてないよ。
鞍手 なんで?
里帆 バイト忙しいから。
鞍手 ねえ、寺田って生徒いたつけ?
里帆 結奈 先生じゃなくて?
鞍手 うん。
里帆 結奈 さあ、知らない。
鞍手 だよね。
里帆 じゃああれは? 4人でやつたじゃん、当たり前を定義するつて。
鞍手 結奈 当たり前をティギ?
里帆 保健室いく?
鞍手 里帆 待つて待つて、なに、私がおかしいの?
里帆 鞍手 これ何本? (指を立てる)
鞍手 里帆 2本。
里帆 鞍手 じゃあ今日の日付は?
里帆 今日はー……あれ?
里帆 照明、里帆に集まつていく。鞍手と結奈、静かに去る。
里帆 確か、大会の台本書くために話し合ひしてて……あれ? 結局どうなつたんだっけ。なんで教室にいるんだ? 思い出せない。いつから? 体育館にいて、4時半になつたから縞帳をあげて……、
祭りの喧騒が聞こえてくる。里帆、周囲を見渡す。
舞台は夏祭り。

ひょっとこの面をかぶった寺田が鐘を鳴らしてやつてくる。

寺田 へイらっしゃーい！ 焼きそば食べてつてよ！ うまいよー？

寺田 ……、

寺田 おつとお嬢ちゃん人違いだぜ？ オレア2組の大納言マサオだよい！
里帆 何言つてんの。

里帆 面をとろうと奮闘するが、

カバディの動きで悉くかわされてしまう。

寺田 神社正面、派手な看板目印よ！ 来てみてらっしゃい天下一品、
大納言焼きそば！さーア買つた買つたー！

寺田、宣伝しながら去る。鞍手が走つてくる。

鞍手 おまたせー！

鞍手 里帆 ……。

鞍手 里帆 ごめん、待つた？

鞍手 里帆 藍、ちゃん？

鞍手 うん？

鞍手 里帆 鞍手藍ちゃん？

鞍手 里帆 なんでフルネーム。

鞍手 里帆 私、奥原里帆でいいんだよね？

鞍手 里帆 誰それ。

鞍手 里帆 ……。

鞍手 ははーん、財布も忘れたとか言うんでしょ。ケチだねー。確かに

お祭りはぼつたくりだけどさ、こういうときこそ奮發しないと。
あっちにカステラ売つてから行こう。

鞍手、里帆の手を掴んで行こうとするが、

里帆 ごめん藍ちゃん。

鞍手 ん？

里帆 わたし、誰……？

鞍手、里帆の目を見つめる。

鞍手 あなたはコマル君。

里帆 ……何？

鞍手 小丸雅弘。

里帆 (ふらつく)

鞍手 (支えて) 大丈夫？

里帆 わたし、頭おかしくなつちやつた。

鞍手 具合悪い？

里帆 マサヒロって、誰？

鞍手 あなたの名前。

里帆 男？

鞍手 なに？ オトコって。

鞍手 オトコだか奥原だか知らないけど、あなたはコマル君！ ねえ、
もう帰る？ 花火はまた別の所でいいし。

里帆 ねえ、私って、高校生？
鞍手（顔を横に振る）。

結奈、走って出てくる。

結奈 おかあさーん！！（里帆に抱きつく）

里帆 えッ、

鞍手 冗談キツいわよ？

寺田 あ、どうも。

鞍手 久しぶりね。

寺田 今年もお邪魔します。

鞍手 気兼ねしないでね。

寺田 ありがとうございます。

鞍手 毎週でもいいのよ？ 結奈ちゃんに会えて嬉しいんだから。

結奈 私もおばあちゃんに会えてうれしいー。

鞍手 あらうれしいー。

地面にへたれこむ里帆。

寺田（里帆に）どうした真奈美。

里帆、笑う。

結奈 お熱ー？（里帆のおでこに手を当てる）

鞍手 熱中症かしら。

寺田 今日はずっと外にいたもんな。

鞍手 うちでゆっくりしなさい。

寺田 大丈夫か？

里帆 ううん。大丈夫じゃないや（笑い続いている）。

結奈 お母さん。だあーいすき！

強く里帆の身体にしがみつく結奈。
そこへ花火の音。

結奈 流れ星ー！（しがみついたまま）

寺田 夜空にまあーるく打ち上がる（背後から里帆の頭部を両手で固定）、
鞍手 流れ星（里帆の首を両手で絞める）。

左右、後方から取り囲まれて締め付けられている里帆。ひとりわ
大きな声で、しぶり出すように笑う。泣いているようにも見える。²⁸
次々打ち上がる花火（音に加えて照明の変化もあればなお良い）。
花火はまるで銃火器の音や光のよう。里帆は撃ち抜かれているかのよ
うに、苦悶の表情で徐々に体勢を倒してうずくまる。結奈、鞍手も
横たわる。寺田は立ったまま、だらりと、うなだれている。

静寂。

寺田、少し顔を上げて、

寺田 混沌だ。

ゆつくりと、ほか3人も顔を上げながら、

里帆 混ざりきることのない、

結奈 カオス。

鞍手 81億のアイデンティティ。

4人それぞれ、虚ろな表情で、這つたりよろめきながら離れていく。

寺田 相容れぬ信条が、

里帆 慣習が、

結奈 情動が、

鞍手 せめぎ合う。

寺田 1つの器が

全員 81億。

里帆 1つの器に

全員 81億。

里帆 個は死に調和が保たれる。

結奈 はず、

鞍手 だつた。

寺田 争いは、なくならない。

4人 やがて力尽き、胎児の様に丸くなり、目を瞑つて動かなくなる4人。

暗闇。

里帆

結奈 それでも、

鞍手 わたしを、

寺田 諦めたくない！

心音が鳴る。

4人、同時に大きく息を吸い込むと、心音が赤ん坊の泣き声に変わる。

同時に曲（イメージは Sigur Ros 『Festival』）IN。溶明。

4人、自分のヘソの緒を手探りで掴み、ロープのように手繩つて立ち上がっていく。ゆっくりと目を開け、完全に、立つ。

遠くを見つめ、ふつと微笑む4人。

里帆 おはよう！

4人、走り出す。

里帆 よろしく！

鞍手 おつかれ！

寺田 さよなら！

鞍手 ごめんね！

寺田 またね！

鞍手 ただいま！

寺田 おやすみ！

鞍手 大好き！

寺田 ありがとう！

里帆 (立ち止まり、客席に手を差し出す) 踊ろう！

それぞれ感じるまま自由に舞う。手を鳴らし、足を踏み鳴らし、歌い、跳び、叫んで、コンテンポラリーダンス。舞台と客席の隔たりも消え、ひたすら生命の歓喜に溢れ、会場全体を幸福で圧倒する。

力いっぱい生きる。幕。

◎ 人数設定について

大勢の登場人物を4名で演じることにより、誰が誰だか分からぬ、人が混ざり合っている、という混乱を観る人に体験してもらう意図があります。ですので、そのまま4人で演じていただけると幸いです。